

令和6年1月12日

令和5年度 第61回北海道高等学校教育研究大会農業教科部会研究集会

研究主題 「持続可能で多様な環境に対応した農業教育の推進」

～科学技術の進展やグローバル化に求められる学校農場づくり～

発表題名 道北の地域資源を活用した農業教育の実践

～地域から注目される農場づくりを目指して～

北海道剣淵高等学校

教諭 田呂 雄一

- 1 学校概要
- 2 農業国際系列の目標
- 3 地域や関係機関と連携した農業教育
 - (1) 町内農家委託実習（2年次）
 - (2) 資格取得講習会（3年次）
 - (3) 産業現場実習（3年次）
 - (4) 農業機械研修（2・3年次）
 - (5) 上川総合振興局農務課（地域とコラボ！上川農業担い手総合推進事業）（2・3年次）
 - (6) 委託実習報告会（2・3年次）
- 4 作物・野菜・草花栽培および加工製造での教育活動
 - (1) 多種類の栽培品目（産業として多様化した農業の関心を高める）
 - (2) 新顔作物の導入（専門分野における知識、技術および技能の定着）
- 5 ヒューマンサービス及び流通に関する知識と技術の習得
 - (1) 生産物の販売（人間性豊かな職業人の育成）
 - (2) 総合学科でのメリット（各系列の教科等横断的な学習の取組みから）
- 6 持続可能で多様な農業教育
 - (1) 環境に配慮した取り組み
 - (2) グローバル化
 - (3) ICTの活用（BYOD活用による教育実践）
- 7 教育活動をPRする手段
 - (1) メディアへの発信（教育活動のPRおよび情報発信による周知）
 - (2) インスタグラムの開設(情報発信によるPR活動)
 - (3) 活動の成果（社会に認知される活動を目指した取り組みで得たもの）
- 8 教育活動における生徒・教員・学校運営競技委員の変容についてのまとめ
- 9 進路先
- 10 まとめ
- 11 教育活動をスムーズに展開するために必要なこと。
- 12 おわりに